

項目	内容
名称	ニームノキ、ニーム、マルゴサノキ、インドセンダン [英]Neem、Arishta、Bead Tree、Holy Tree、Indian Lilac、Indian Neem [学名]Azadirachta indica A.Juss
概要	ニームノキは、インドやスリランカの森林地帯が原産の大きな常緑樹。硫黄が含まれるため、種子油には不快なおいや苦みがあり、食用には向かない。
法規・制度	■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none">・たんぱく質、イソプレノイド (isoprenoid) 、多糖、フラボノイド、ジヒドロカルコン (dihydrochalcone) 、クマリン (coumarin) 、メリアシン、タンニンなどが含まれる (33) 。・ニームノキ種子には45%の種子油が含まれており、ニンビジン (nimbidin) (1.4%) 、nimbin (0.12%) 、nimbinin (0.01%) 、nimbiol (0.5%) 、nimbolideが含まれる (PMID:8477918) 。
分析法	・ニームノキ花に含まれる精油中のn-ヘキサン可溶性画分とメタノール抽出物をGC-FID法またはGC-EIMS法にて分析した報告がある (PMID:19235028) 。

有効性

ヒ ト で の 評 価	循環器・呼吸器	調べた文献に見当たらない。
	消化系・肝臓	調べた文献に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献に見当たらない。
	肥満	調べた文献に見当たらない。
	その他	調べた文献に見当たらない。

参考文献

- (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ
- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
[\(PMID:19235028\) Nat Prod Res. 2009;23\(3\):271-83.](#)
[\(PMID:2259944\) Singapore Med J. 1990 Oct;31\(5\):463-5](#)
[\(PMID:15261960\) J Ethnopharmacol. 2004 Sep;94\(1\):25-41.](#)
- (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
[\(PMID:24826011\) J Basic Clin Pharm. 2011 Jun;2\(3\):125-7.](#)
[\(PMID:24974507\) J Assoc Physicians India. 2013 Nov;61\(11\):848-50.](#)
[\(PMID:24136910\) BMJ Case Rep. 2013 Oct 17;2013.](#)
[\(PMID:24522945\) Indian J Pediatr. 2014 Sep;81\(9\):955.](#)
[\(PMID:14769237\) Acta Pharm. 2003 Dec;53\(4\):305-11.](#)